



2020年7月1日

各位

会社名 株式会社 地域新聞社  
代表者名 代表取締役社長 山田 旬  
(コード 2164)  
問合せ先 取締役管理本部本部長  
松川 真士  
(TEL. 047-420-0303)

## 通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年4月1日に公表いたしました通期連結業績予想及び配当予想につきまして、再修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正

2020年8月期通期連結業績予想の修正（2019年9月1日～2020年8月31日）

(単位：百万円、%)

|                          | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益    |
|--------------------------|-------|------|------|-----------------|---------------|
| 前回発表予想(A)                | 3,813 | △39  | △30  | △42             | 円 銭<br>△22.94 |
| 今回修正予想(B)                | 3,210 | △322 | △313 | △297            | △161.46       |
| 増減額(B-A)                 | △603  | △282 | △283 | △255            |               |
| 増減率(%)                   | △15.8 | —    | —    | —               |               |
| (ご参考) 前期実績<br>(2019年8月期) | 3,992 | 22   | 45   | 22              | 12.06         |

#### 2. 修正の理由

2020年8月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響により、「新聞等発行事業」、「折込チラシ配布事業」において、3月より顧客の広告出稿キャンセルの影響が出ており、4月以降の業績への影響を鑑みて、2020年4月1日に「2020年8月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において業績予想を修正いたしました。4月に発令された緊急事態宣言を受けて店舗の営業自粛が加速し、広告出稿の延期・キャンセルの影響が大きくなりました。その結果、4月単月では「新聞等発行事業」の売上高が84,307千円（計画比60.6%）、「折込チラシ配布事業」の売上高が71,434千円（計画比57.1%）となりました。また、5月単月では当初発行を予定していた5/1号、5/8号の2発行を休止したため、「新聞等発行事業」の売上高が58,641千円（計画比38.7%）、「折込チラシ配布事業」の売上高が44,542千円（計画比35.0%）となりました。6月以降、緊急事態宣言解除により経済活動は徐々に回復していますが、中小規模事業者の販促需要は完全には回復しておらず、第4四半期も影響

は残ると想定しており、特に「折込チラシ配布事業」は顧客が準備したものを折り込むという形がメインであるため、自社メディアの広告制作による新聞等発行事業と比較し、販促需要の回復がさらに遅れると見込んでいます。直近の動向から売上高への影響額は「新聞等発行事業」で2割減（計画比）、「折込チラシ配布事業」で3割減（計画比）を想定しており、通期の連結売上高は「新聞等発行事業」が1,587百万円（計画比86.8%）、「折込チラシ配布事業」が1,211百万円（計画比82.2%）と見込んでおります。また、「販売促進総合支援事業」につきましては、行政からの需要は安定しているものの、一般企業からの需要は回復に至っておらず、直近の動向から売上高への影響を2割減（計画比）と想定しており、連結売上高232百万円（計画比76.8%）を見込んでおります。「その他の事業」につきましては、「チケット販売代理事業」においては公演の中止や延期、「カルチャー事業」においては講座休止（3月～5月の全講座を休止）の影響が出ております。「カルチャー事業」に関しては6月より感染症対策を施し、再開できる講座から順次再開していますが、第4四半期については売上高への影響を6割減（計画比）と想定しております。また、「チケット販売代理事業」に関しては公演の再開が徐々に進んでいますが、依然として延期のリスクを抱えており、売上高への影響は現時点で未定となっております。これらの影響を鑑み、直近の動向から「その他事業」につきましては、連結売上高177百万円（計画比84.1%）を見込んでおります。このような状況のもと、「新聞等発行事業」の売上原価の最適化（ページ数コントロール）を行うことで連結粗利益は2,272百万円（計画比82.4%）、配布外注費等の適正化、投資予算の見直しを行うことで、販売費及び一般管理費は2,594百万円（計画比92.7%）まで圧縮を見込んでおりますが、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想値を下回る見込みであります。

### 3. 配当予想の修正（無配）

#### （1）修正の理由

2020年8月期の配当金につきましては、3円の配当予想を2020年4月1日に開示いたしましたが、上記のとおり当期の業績予想は大幅に悪化する見込みとなりますので、配当金につきましては誠に遺憾ではございますが無配の予想に修正させていただきます。

#### （2）修正の内容

| 基準日                 | 1株当たり配当金（円） |       |       |
|---------------------|-------------|-------|-------|
|                     | 中間期末        | 期末    | 年間    |
| 前回予想(2019年10月10日公表) | 0円00銭       | 3円00銭 | 3円00銭 |
| 今回修正予想              |             | 0円00銭 | 0円00銭 |
| 当期(2020年8月期)実績      | 0円00銭       |       |       |
| 前期(2019年8月期)実績      | 0円00銭       | 3円00銭 | 3円00銭 |

※上記の業績予想は、当社が本資料発表日現在において、入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上